

会 議 録

会 議 名	平成 27 年度第 3 回八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会	
日 時	平成 27 年 11 月 10 日（火） 午後 4 時 00 分～5 時 50 分	
場 所	八王子市役所 805 会議室	
出席者氏名	委 員	井上仁会長、中込順子副会長、荒井容子委員、内野彰裕委員、岡崎理香委員、後藤高浩委員、小林千里委員、塩澤伸久委員、田口勝美委員、田中伸幸委員、中嶋美和委員、西村高志委員、宮崎豊彦委員（会長、副会長、以下五十音順）
	関連所管	富山大横保健福祉センター館長
	事務局	平塚子どものしあわせ課長、久間保育対策課長、澤田保育幼稚園課長、橋本子育て支援課長、佐藤児童青少年課長、福田子ども家庭支援センター館長、小池課長補佐、倉田課長補佐、本間主査、川上主査、國井主査、小林主査、坂井主査、永井主査 他
欠席者氏名	青木訓行委員、石田健太郎委員、栗本正男委員、辰田雄一委員、立石晴美委員	
議 題	報告 1 子どもにやさしいまちづくり部会の設置について 2 児童福祉施設等認可部会の開催状況について 議事 1 義務教育就学児医療費助成制度（マル子医療証）の拡充について 2 平成 28 年度子ども・子育て関連予算の要求の状況について その他	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	0 名	
配付資料名	別紙のとおり	
会議の内容	別紙のとおり	
会議録署名人	平成 28 年 2 月 1 日 内 野 彰 裕	

配布資料

- 「子どもにやさしいまちづくり部会」の設置について
- 八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会児童福祉施設等認可部会の開催状況について
- 義務教育就学児医療費助成制度（マル子医療証）の拡充について
- 平成28年度子ども・子育て関連予算の要求の状況について
- 「子育て世代包括支援センター」と利用者支援事業等の関係等について
- 「地方自治と子ども政策」全国自治体シンポジウム2015について
- 平成26年東京都人口動態統計年報(確定数)のあらまし

別添

- 八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 講演案内 カリスマ園長から聞く「可能性を引き出す子育てのヒント」

【井上会長】 定刻になりましたので開会いたします。

初めに報告事項について、事務局から説明をお願いします。

報告

1 子どもにやさしいまちづくり部会の設置について

【平塚子どものしあわせ課長】 それでは、お手元の資料をご覧ください。（資料「子どもにやさしいまちづくり部会」の設置について」について説明）

【井上会長】 何かご質問等ございますか。よろしいですか。

では、続きまして児童福祉施設等認可部会の開催状況について報告をお願いします。

2 児童福祉施設等認可部会の開催状況について

【澤田保育幼稚園課長】（資料「八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会児童福祉施設等認可部会の開催状況について」について説明）

【井上会長】 何かご質問等ございますか。よろしいですか。

今ご説明いただいた部分は、法令に基づいて行っている部分ですが、このほかに、子ども育成計画に記されている保育の質についての議論も必要となりますので、今後、そ上に載せていただくようお願いします。

事務局から他に報告事項はありますか。

【平塚子どものしあわせ課長】 もう1点、八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、子どもの施策に関する部分を中心に、簡単に報告させていただきます。別冊の資料をご覧ください。（別添資料「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について説明）

【井上会長】 皆さんからご質問等ございますか。

この戦略の市での位置づけはどのようになっていますか。私たち委員は、議論するにあたって、この戦略をどのようにとらえたらよろしいですか。

【平塚子どものしあわせ課長】 こちらの戦略は、若年層、大学生にターゲットを絞り、持続可能な自治体運営のために必要な人口規模を保つことを目指すという視点から、各個別計画で示された施策をパッケージ化してまとめ、市の方向性を確認したものです。

この分科会では、子ども育成計画の点検評価を毎年しっかり行っていけば、この戦略にフィードバックされますので、委員の皆様はあまり意識しなくてよろしいかと思います。

【井上会長】 人口推計では非常に厳しい数字が出ています。八王子市の子育て戦略の中で、

この数字をどう読み解けばいいのかわかりません。子育て施策で重点的に取り組む柱が変わることが考えられるのでしょうか。

【平塚子どものしあわせ課長】子ども育成計画とあまり変わらない時期に策定されたものですから、取り組むべき重点項目が子ども育成計画で掲げたものから変わるということはありません。

【井上会長】いずれにしても子育て施策と人口施策はつながっていますから、戦略的に魅力あるまちづくりに取り組んでいかないと、自然減、社会減は進行してしまいます。我々委員もしっかり意識して考える必要があるかと思います。

【宮崎委員】仕事がないと安定した生活が送れず、子どもも生まれません。戦略の中の「人口の減り方を小さくする」という考えも分かるのですが、雇用創出とか、労働人口を増やすための具体的な取組は考えられているのでしょうか。

【平塚子どものしあわせ課長】雇用の創出の視点は入っているのですが、それ以上に労働人口が減る要因が大きく、推計は減ってしまうものとなっています。その辺りは、また別の機会に説明させていただければと思います。

【井上会長】共稼ぎ世帯が多くなってきた中、例えば企業内保育の推進施策をどう進めていくかなど、戦略的に取り組むことによって福祉の取組と人口政策が合致することとなります。

【内野委員】市部の合計特殊出生率をみると、あきる野市が1.43で1位、八王子市は1.19で21位となっています。こうした差が生じている原因を分析されていたら知りたいのですが、いかがでしょうか。

【久間保育対策課長】分析はしていません。ただ、合計特殊出生率の算定には大学生の年齢層の女性の数も影響しますから、八王子市に大学生が多いことが低い数値となる要因の1つとして考えられます。

【井上会長】特徴的な子ども・子育て施策をとっている自治体とそこの合計特殊出生率の関連を調べてみれば、何か参考になるかもしれません。また、八王子市にどこから転入してきているか、どこへ転出しているかなども調べてみるといいかもしれません。

では、次に議事に入りたいと思います。義務教育就学児医療費助成制度の拡充について、事務局から説明をお願いします。

議事

1 義務教育就学児医療費助成制度（マル子医療証）の拡充について

【橋本子育て支援課長】（資料「義務教育就学児医療費助成制度（マル子医療証）の拡充について」について説明）

【井上会長】 200円の自己負担部分は残るのですか。

【橋本子育て支援課長】 200円の自己負担部分については、受益者負担の観点など賛否両論あります。まずは所得制限の撤廃を先行して実施し、今所持していない保護者にマル子の医療証が行き渡るようにしたいと考えています。200円については、引き続き検討課題とする考えです。

【田中委員】 福生市、羽村市、西東京市などと同じ扱いになるということですか。

【橋本子育て支援課長】 はい。同じになります。

【井上会長】 皆様からご意見ございますか。

基本的にはいいのですが、どうせなら200円部分も撤廃したらどうか、という気もします。人口確保の戦略を出す一方、子どものセーフティーネットの部分で大きく関わる医療の分野でどれだけやさしい姿勢を示すことができるか。一律負担というのは、収入が少ない人ほど支出割合が高くなる、ということになりますから、収入の少ない家庭や病気で通院の多い子どもの家庭にはやさしくない、ということになります。生活保護を受けずにギリギリのところで頑張っているひとり親家庭も多いと思いますが、そういう家庭にとってみれば、200円でも大きいと思います。そこはぜひ今後議論していただきたいと思います。

【橋本子育て支援課長】 ひとり親家庭には、自己負担を必要としない別の助成制度があります。また、他の中核市では、200円以上負担していただいたり、回数制限を設けていたり、助成内容は様々です。また、通常3割負担で、通院と調剤合わせて3,000円くらいかかるところを200円で済むとみれば、本来払う額の6～7パーセントの負担で済むということですから、負担軽減としては大きいという見方もできると思います。

【井上会長】 他に並ぶのではなく、抜き出てほしい気もしますが、まず第一歩ということでもよろしいのかとも思います。委員の皆さんいかがですか。

所得制限の撤廃に反対するわけではないですが、200円の自己負担部分については、もう少し検討すべきだと思います。

【橋本子育て支援課長】 200円の部分をこの先ずっと残しますと結論付けたわけではございませんので、そこは引き続き検討することとします。まずは所得制限の撤廃について

審議会においてご了承いただければと思っています。

【井上会長】委員の皆さん、よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

【井上会長】では、所得制限撤廃については了承することといたします。

続きまして平成28年度子ども・子育て関連予算の要求状況について、事務局からお願いいたします。

2 平成28年度子ども・子育て関連予算の要求の状況について

【平塚子どものしあわせ課長】各課にわたる内容ですが、時間の関係もありますので、私から一括して説明いたします。あくまで子ども家庭部の要求の状況ですので、決定した内容ではありません。そのようにご理解いただき、ご意見をいただければと思っています。

(資料「平成28年度子ども・子育て関連予算の要求の状況について」について説明)

【井上会長】新規事業の見込みはどうでしょうか。

【平塚子どものしあわせ課長】本市の場合、新規事業はアクションプランという実施計画策定の過程で詰めておりまして、これまでアクションプランに掲載された事業については、ほぼ予算計上が認められてきました。ここに示した新規・充実事業は、アクションプランに掲載されていますので、これから査定は受けるものの実施できる見込みが濃いと思っています。

【久間保育対策課長】ただ、今年は全庁の要求額と財源確保の見込額に数十億円の開きがあり、非常に厳しい状況とも聞いておりまして、要求どおりの予算が付かない可能性もあります。

【井上会長】委員の皆さんからご質問等ございますか。

【宮崎委員】横浜市が保育士確保のために宿舎借上げを始めたところ、数百人の保育士が横浜市に流れていったようです。東京23区でも同様の取組を始めました。ぜひ八王子市も保育士確保のために力を入れていただきたいと思います。

【井上会長】八王子市では宿舎借上げについてどれくらいの補助を考えているのですか。

【澤田保育幼稚園課長】2分の1です。

【井上会長】八王子市では保育士確保のための取組で他にどのようなことをしていますか。

【宮崎委員】保育園協会で養成学校との懇談会を始めました。そのほか就職説明会、八王子市とハローワークとタイアップした説明会などを行っています。

【久間保育対策課長】東京都の就職相談会にも参加しています。

【井上会長】学生たちは魅力があるところを選びますので、呼び込むには八王子の保育の魅力づくりも必要かと思います。保育士確保の一方で、保育の質の確保も大切です。質と
いえば、子育て支援員はどう活用する予定ですか。

【久間保育対策課長】保育所では一時預かりの場で活用の機会があります。

【井上会長】保育所以外にも、学童保育所ですとか、家庭的保育とか、いろいろ対象となっている事業がありますが、一定の研修を受けた方とはいえ、課題が多いのではないのでしょうか。子育て支援員への対応も部会で検討していただけたらと思います。

では、これについては皆さんよろしいですか。よろしければ、次、「その他」の部分に移ります。

その他

【平塚子どものしあわせ課長】（資料「「子育て世代包括支援センター」と利用者支援事業等の関係等について」について説明）

【井上会長】新しい子ども育成計画では、子育てコンシェルジュというかたちでワンストップをどう実現するのか、切れ目のない継続的な支援を、ということを出しています。その実現のために保健センター中心型でこの事業をするとすると、保健師さんたちの業務の見直しもかなり生じるでしょうし、大変なことと思いますが、保健医療だけでなく、家庭支援や相談支援が備わらないと、ネウボラにはなりません。この資料では、既存の事業の積み上げで子育て世代包括支援センター事業ができてしまうようなことが書かれていますが、既存の事業の積み上げだけでは、市民に分かりやすい相談体制は実現できません。相談の内容によって誰に相談すればいいか、調べないとわからない。この問題を解決するためのワンストップです。設計をしっかりとしないといけないと思います。この件につきましては、今後一緒に検討させていただきたいと思います。

続いて、全国自治体シンポジウムに参加されたようなので、その報告をお願いします。

【平塚子どものしあわせ課長】今年のシンポジウムのテーマは、「子どもにやさしいまちづくり」でした。詳しくはこの後に開催する部会で取り上げる予定ですが、分科会においてもポイントだけ情報提供いたします。（資料「「地方自治と子ども政策」全国自治体シンポジウム 2015 について」について説明）

【井上会長】町の中に子どもの居場所を取り戻そうということで、昔は路地裏といいます

か、道で遊ぶのが当たり前のような文化がありました。資料の写真にはプレイパークのようなものもあります。八王子市では子どもの居場所についてどうしていくのか、また詳しいお話を伺いながら、審議していきたいと思います。

【平塚子どものしあわせ課長】最後に、事後になってしまい申し訳ございませんが、11月4日に行われた、八王子市の事業主による事業主を対象にしたシンポジウムについて報告させていただきます。

子ども育成計画では、子ども・子育て支援を社会全体で担っていく姿を掲げていますが、このシンポジウムは、八王子市子育て応援企業に登録している事業者が中心となって企画したものです。企業の中で社員や社員の家族のことをしっかり考えていけば、虐待・いじめはなくなるでしょう、と啓発する内容でした。企業側から虐待・いじめ防止の問題啓発に取り組む、そんな取組がありましたということを報告させていただきます。

【井上会長】皆様よろしいでしょうか。

では、長くなりましたが本日はこれで終了します。